

市進学院

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 22点 大問4 32点 大問5 26点

1,2 「汗牛充棟(かんぎゅうじゅうとう)」が正しく読めるかどうか。
「ショショ＝処暑」「ムビョウソクサイ＝無病息災」を書けるように。

3 三川 みり 「君と読む場所」
ある小説により、今まで会話の無かった2人が近づいていく内容。
心情が明確で比較的、読みやすい。記述はなし。しっかり得点したい。

4 若林 幹夫 「社会学入門一歩前」
人と人のつながりやメディアを通じて共同体が形成されることについての文章。社会学は自校作成校では頻出テーマなので、しっかり準備しておくといよい。
記述問題は2題。空欄にしないように、傍線部の前後をチェックすること。

5 村上 哲見 『漢詩の名句・名吟』
昨年同様、漢文がテーマになっているが、ほぼ現代文のような体裁になっているので、読みやすかったはず。ただし、問7は少々、難問。

- 1 標準的な問題が多い。全問正解を目指したい。
今年は「箱ひげ図」が立川高校で初めて出題された。
- 2 2次関数の定番問題が出題。問3は方針は立つが、計算が大変な問題で受験生は時間との戦いだったであろう。
- 3 円の問題。問2は本文中の図が不正確になっているので注意。
補助線ACを引けたかどうかのポイント。問3は重なった図をイメージできたか。
- 4 立体図形の問題。今年は直方体が出題された。
三平方の定理を使うが、計算の際に「比」を使って素早く処理しないと時間の短縮ができない。相似もすぐに見つけられるようにしたい。

難易度は上昇。設問形式などは昨年度とほぼ同じ。

大問2の文章が、天体に興味が無い受験生には大変だった様子。

1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の用法の誤りに注意。

2 天体に関する対読文

理系の内容の英文は頻出。他自作作成校の過去問を利用して経験を積むことが有効。今年は本文内容に該当する「イラスト」を選ぶ問題も出題された。

英作文 本文を読み取り、15〜20語で理由を答えるもの。

3 物語文 ブドウ畑から学んだことを通じて、気候変動が身近なものになったという話

文量、設問とも多いので読みながらテンパよく問題処理する必要がある。

ここでもイラストを選ぶ問題が出題された。

英作文 文脈から内容を推測して15〜20語でプレゼン原稿を完成させるもの

難易度の標記 A: 易しい (全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準 (落とせない) 目安→正答率79~60%
C: やや難問 (合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D: 難問 (1問でも出来れば良い) 目安→正答率39~11%
E: 超難問 (てきなくとも気にしない) 目安→正答率10%以下

普通科	2025目標点 英数国175+理社170=345 目標内申 59/65
創造理数科	2025目標点 英数国185+理社178=363 目標内申 62/65